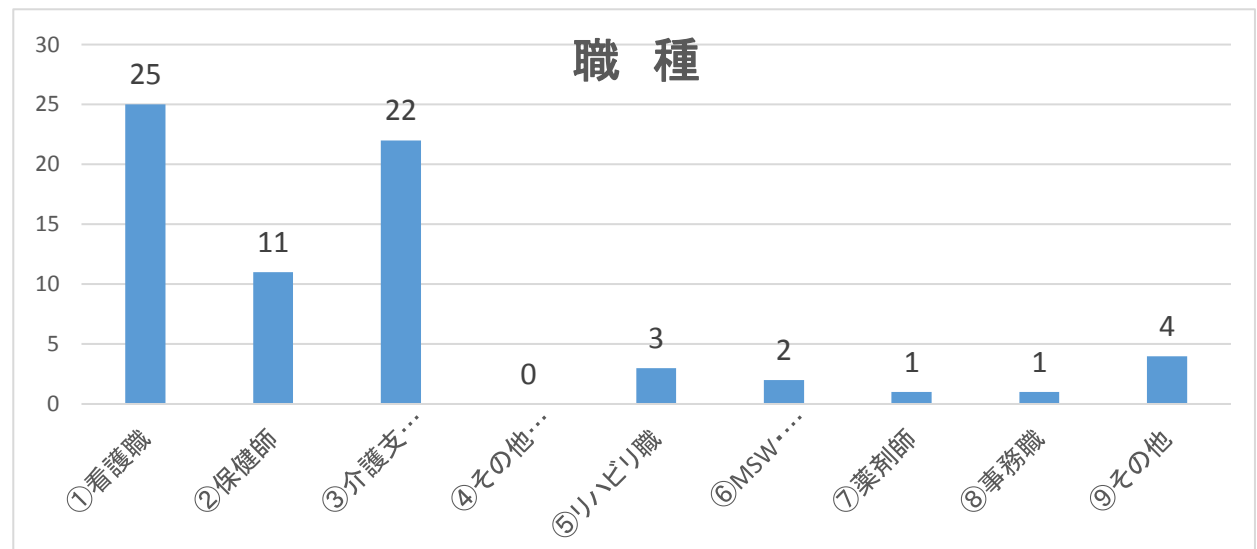


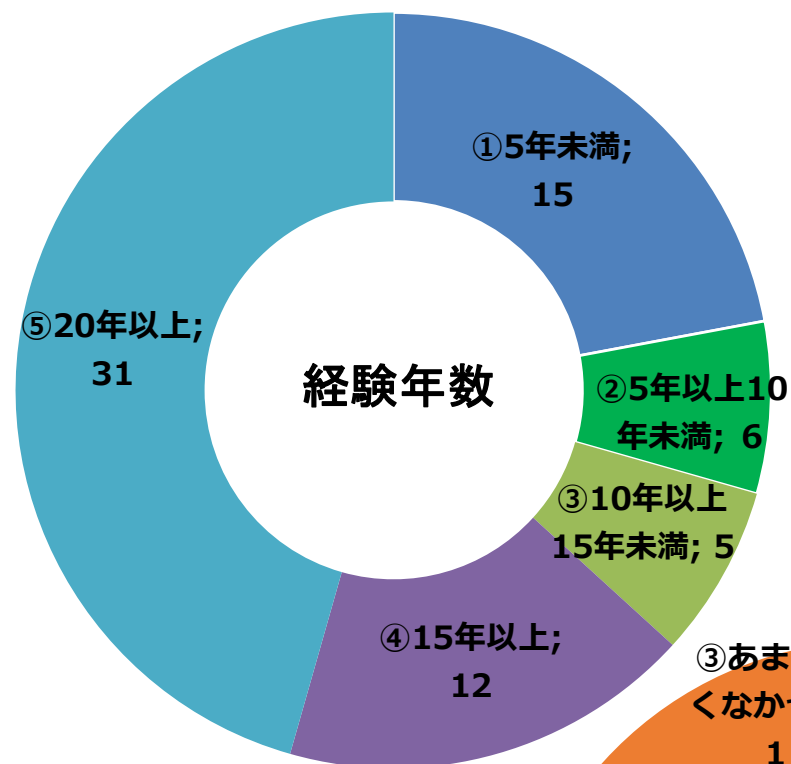
第2回 北空知地域入退院支援研修会(R1.11.18) 参加者アンケート集計結果

(1)職種	回答数	率
①看護職	25	36.23%
②保健師	11	15.9%
③介護支援専門員	22	31.9%
④その他介護職	0	0.0%
⑤リハビリ職	3	4.3%
⑥MSW・相談員	2	2.9%
⑦薬剤師	1	1.4%
⑧事務職	1	1.4%
⑨その他	4	5.8%
計	69	100%

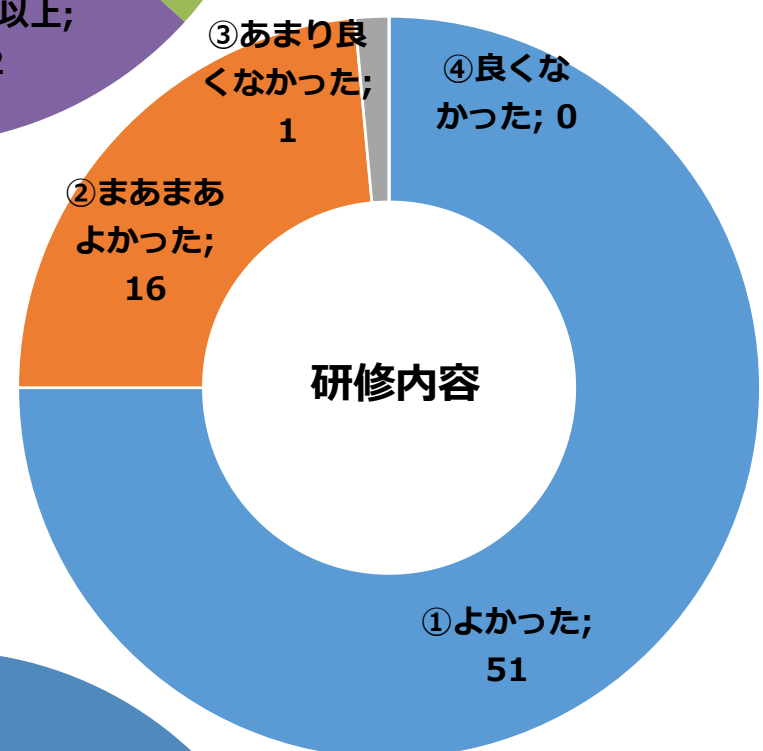
研修会参加者数 80名 アンケート回答者数 69名 回収率86.3%



(2)経験年数	回答数	率
①5年未満	15	21.7%
②5年以上10年未満	5	7.2%
③10年以上15年未満	5	7.2%
④15年以上	12	17.4%
⑤20年以上	31	44.9%
⑥未回答	1	1.4%
計	69	100%



(3)研修内容	回答数	率
①よかった	51	73.9%
②まあまあよかった	16	23.2%
③あまり良くなかった	1	1.4%
④良くなかった	0	0.0%
⑤未回答	1	1.4%
計	69	100%



2. 研修会参加回数	回答数	率
①1回目	12	17.4%
②2回目	18	26.1%
③3回目	10	14.5%
④4回目	11	15.9%
⑤5回目	10	14.5%
⑥6回目	7	10.1%
未回答	1	1.4%
計	69	100%



①看護職の感想等

3 研修を終えて、あなたが学んだこと、実践してみようと思ったことをお書きください。	4 今後、この研修会で取り上げて欲しいテーマや研修の方法について何かあればお書きください。	5 研修全体を通してのご意見・ご感想をお書きください。
家族の5年後の生活を予測する事は色々な面を考えなければいけないので大変だと思った。	今までの経過を振り返るのではなく、今後どう支援していくかを考えたのが良かった。方法として多人数でのグループワークはなかなか聞こえにくく難しいと感じた。年2回は多い。	お疲れ様でした。他の職種とのコミュニケーションをとる事は大切だと思います。メンバーが固定してきた気がします。
多職種の色々な意見、アイデアを聞くことができた。地域で人が生活できるように細やかな情報共有をしていきたい。	ご高齢者残葉の多さ、その調整について	活発な意見交換ができた。未来を想像することで、いろいろなことが予測できた。
対象者の支援に関して、もっといろいろな方向から考える必要があると分かった。他職の人たちと連携し、知恵を出し合い対象者がよい方向へ向かうよう、考えていけると思った。	引き続き8050問題を考えてみてはどうでしょうか。かなり切実な課題で身近な感じがします	空調が寒かった。
目の前でおきている問題にとらわれがちだが、未来を想像し、いろいろな可能性を話し合うことで、視野を広げることができると思った。	同じく8050の事例(とても多いので)	多職種カンファレンスが今後支援していくなかで必要になってくると思います。地域で協力して共有していきたいです。
多職種の方と接し、いろいろな考え、意見が出て来て、いろんな視点から情報を共有し支援ができ継続していけたらと思いました。	家族への対応の仕方	毎回楽しく研修を受けています。自己紹介のマイブーム…マイブームがないのが辛いです。
色々な方法で支援するができると思いました。支援を始めるときに現在の事だけでなく将来を見据えた支援が必要なんだと思いましたので、先の事を考えてかかわっていきこうと思います。	今回と同様の生活環境で、他の市町村だったらどんなケースがあるか	色々な意見が聞けて楽しかったです。ポジティブな視点で考える事も大切だと思いました。
身近にも、このような患者様もいますので、いろいろな方向から考えることができ大変学びが多かったです。		市や地域のサービスはどのようなものがあるのか、もっと知りたいと思いました。
地域、民生委員、行政との継続的な関わりをすること。5年後どうなるか？という視点で支援をもう一度見直す事。		意見交換はかなり円滑に進んだように思います。交流が図られていると感じます。お疲れ様でした ♥♥□
他職種が集まり色々な視点で話し合うことで、考えつかない意見や知らなかった知識をつけることができました。マイナスだけでなくプラス、明るく考える視点を持つことができました。		現実の生活はいろいろ苦しい面があると思いますが、周囲の人が見守る環境を作る事が出来れば何か良い方向に進めるのではないかと感じました。
5年後のことをイメージして、今できることを考える事の大切さを考えることができました。		他職種の方とお話しできて、家に帰る、自宅で過ごす方に対する継続する支援の幅広さを知りました。みなさんのお話も、発表を聞くのもとても楽しかったです。
患者さんや家族が、今後どうなりたいのか、今の生活に対してどう思っているのか、少しでも知りたいと思った。		ありがとうございました
ネガティブな予測だけでなく、ポジティブな面での介入を考える事が大事である		リラックスして参加できる研修なので良いと思います
本人達の意味を今のうちに確認する必要がある。その意思によってはサポート方法もかわってくると思います		おもしろい内容もきけたのでよかった。時間はもう少し短くてもよいと思いました。
自宅に帰った方の生活を考えた、支援は考えていなかったもので、入院したPtにももっと生活の状況をきいていこうと思いました。		8050問題は考えさせられた。
いろいろな発想を持ちながら、対象者に関わること。		何回か参加してるうちに緊張せず意見が出せるようになった
多方面からの見方、考え方は大切だし、面白いと思った		勉強になりました
いろいろな考え方がある事を知った。生活背景、家族など本人を含めた様々な事を考えてまた情報を得て退院支援につなげていく必要があると思う。さまざまな面から隊員を考えていけるようにしたいと思う。		

現在、北空知にないサービスがもしできたら良いと思った。自由な発想意見が出て		
8050問題が間近にあるという事がわかった。2人で暮らすためにいろいろなサービスを利用できるように関わる事が必要だとわかった		

③介護支援専門員の感想等

3 研修を終えて、あなたが学んだこと、実践してみようと思ったことをお書きください。	4 今後、この研修会で取り上げて欲しいテーマや研修の方法について何かあればお書きください。	5 研修全体を通してのご意見・ご感想をお書きください。
8050問題は身近にあって様々な支援が必要(介護、医療、住まいなど)。困っていても誰れにどこに相談すればいいのか分からない人も多いんじゃないかと思った。市のサービス、インフォーマルサービスを知ることが大切だと思う。	身寄りのない対象者の支援について	色々な方と意見交換したり考えを聞くことができ、勉強になりました。また明日から頑張ります。
ひきこもり支援をするためには、地域に出ていく場所が必要だと思いました。サロン、カフェ、子供食堂、大人食堂、etc。地域で掘り起こしてチャレンジしないとけないと思います。	独居の方の事例(家族で上手くいっていないetc)。今後地域的に出てくるであろう事例(予想されるもの)	深川市内には、地域の活動(インフォーマルサービス)が以外とたくさんあると思いました。
今後の課題～非現実的な事として色々話が盛り上がりましたが、話しているうちに、あながち非現実ではない様な気がしてきました。様々な職種の方が気軽に話をする事で生まれるサービスもたくさんあるな～と思いました。	入退院時における医療・スタッフ側と介護従事者側とのギャップを埋める方策について	とても楽しく有意義な交流の場でした。準備等、いつもありがとうございます。今後とも企画等よろしくお願い致します。
8050問題について、実際似たような状況を体験したことがあり、今後もかわることがあると思うので、今回の研修での話し合ったことを参考にして対応していきたい。	通院困難な透析患者さんへの支援	様々な職種の方との意見交換は、とても大切だと思うので、今後も参加(可能な限り)していきたいです。
多岐に渡る制度への地域、活用	入退院の事例で研修がまだまだ必要では？	毎回有意義に意見交換ができ、発想の幅が広がる気がします。
対象者だけではなく、家族支援の重要性(Aさんが施設入所、亡くなった時)、家族について把握していく必要がある(介護力、病気etc)	今回の様なテーマで良いかと思いません。方法についても、同様に良いかと思いません	今回は特に話しやすい環境だったので、次回も期待します。
本人ばかりにとらわれず家族の支援も必要。ペットを本人から引き離すことに視点を置くばかりでなく、今後も一緒に暮らせる環境づくりに取り組む。	実際に問題となっている、困難事例で検討会にすると面白いと思う。成年後見人の支援をした事例があれば聴いてみたい	8050問題、深川市でぜひ、ひきこもりの人の集まり、つながりを持てるような機会をつくってくれたらいいと思いました。
今後、高齢者のひきこもりの息子さんがいたら、今後は少し関心を持ってみようと思いました。	この事例のような引きこもりの方の支援についてもっと深く勉強したいです	楽しかったです。
職種の違いで視点が違う。社会資源の活用、開発。	後見人が必要と思われる方の支援、困難事例	検討結果を踏まえて、新たなサービス等ができればいいと思います。
地域でその方を支援していくためには、その分の課題をどれだけ地域で支えられるか、それぞれの専門職としての役割があらためて必要であるとことを認識することができた。		退院支援のあり方について支援者全員で共有する仕組み、それぞれに温度差があり本人や家族に寄り添えていないように感じる。医師にも参加してもらい『どうあるべきか』共有したいと思います。
なかなか未来のことを考えない場合が多いと思った。いろんなことを想像して支援することが必要。継続して関わられる仕組みづくりが大切		楽しい時間を過ごせました。
同じように家にいる息子さんのケースがあるが、今日のように働いておらず息子さんに対する支援の難しさを感じている。今後、行政とも今日のケースを踏まえて考えていかなければならないと思う。		色々な職種の方々の意見がきけてとても楽しかったです
本人だけでなく、家族(息子さん)を含めた支援について話し合いを行った。色々な意見がきけて楽しかった。		とても楽しく勉強になりました
今できる事をおこなっていく。あきらめずに愛をもっていろいろな事ができると思う		
多職種の方から、それぞれの視点での話を聴くことができ、気づきや学びの場になった		
5年後を見据えて支援を考える。目の前の課題に追われ、やっているようでやってない事だなど、あらためて考える良い機会となりました。『引きこもりカフェ』この地域で本当にできて、一人でもそこで救われると良いなと思いました。		

高齢の母親、引きこもりの息子、猫の多頭飼いと、とても良い事例で色々考えさせられました。		
8050の親子について5年後二人の今後はどうしたいか意思の確認をし、支援したい。		
顔の見える関係になってきた(多職種で)		

○その他の職種の感想等

(②保健師 ④その他介護職、⑤リハビリ職、⑥MSW、⑧薬剤師、⑨事務職、⑩その他)

職種	3 研修を終えて、あなたが学んだこと、実践してみようと思ったことをお書きください。	4 今後、この研修会で取り上げて欲しいテーマや研修の方法について何かあればお書きください。	5 研修全体を通してのご意見・ご感想をお書きください。
2	先々を想像することで、これから対応すべき優先順位がつけられるのだと思いました。どう生活していきたいと考えているのか、本人たちの思いを聞いておくことは今の段階で必要なのだと思いました。		
2	社会資源を考える。本人、家族の課題より	看取り	色々な職種の意見が聞けて良かった。
2	発想よく制限せずに考えることも必要と思いました。公のサービスのみがサービスではなく、地域づくりの視点で、そのケースの解決のみでなく考えることが大事。		今回のような検討は、今ない支援や体制、ちょっとした活動もできて地域づくりを考える機会となり、大変良かったです。
2			この事例のような事例が多くあることを検討の中で知りました。介護離職しないような家族支援の必要性を感じました。この事例では息子さんの方が透析や視力低下で介護が必要になる逆8050問題も起きるのではないかと思います。
2	知的障がいの疑いのある成人への支援方法について考えていきたいと思いました。	今後も8050問題について検討する機会を望みます。	多職種の方の意見を聞き、考えの幅が広がりました。企画ありがとうございます。
2	8050問題について、色々なアイデアを聞くことができ、今後支援に役立だてていきたいと思った。若い方、中高年の支援も重要な課題だと改めて実感した。	また、8050問題について、介護や医療関係者以外(福祉関係者)にも参加者をつのって開催してほしい。	楽しい、実になる事例検討でした。運営・企画のみなさん、ありがとうございました。
2	まずは本人たちの思いをそれぞれに聞くということ。5年後のことを本人たちが考えられるように支援する。	退院調整で必要な支援	継続開催を希望します。続けていくことで顔の見える楽しいです。
2	いつも再認識させてもらうこととして、本人・Faの意思や意向の確認、添った支援を行うこと。そして、他機関との連携や地域などインフォーマルな視点をもった支援の大切さを学びます。	8050問題もそうですし、保証人等について支援者がいない方への対応	他機関の方と交流できるので、良い機会となっています。ありがとうございます。
2	8050支援のためにたくさんある課題を整理することが大切だと思いました。今の状況に目が向きがちですが、何年か経った後、対象者にどのようになってほしいかを考える事が大切であると思いました。		
2			業務上関わる事が少ない職種の方々とも話し合うことができ大変有意義でした
5	多職種の方々と話すと、色々なアイデアが生まれる。		話しやすい内容で楽しかったです。
5			今後増えるであろう8050問題について様々な意見があり、色々と考えなくてはいけないと思いました。
5	5年後、どのような生活をしているのか、先の視点でアドバイスや情報収集をする必要があると思いました		
6	多職種の方と話をすることで、色々な見方もあり学ぶ事ができた。		
6	みなさんで考えてひとつにまとめる。Aさん自身や息子さんの支援と多職種が話し合う事で、色々な選択肢が出てくるため今後話し合いを重ねたい。	今回のようにグループワークで話し合いを作してほしい	今回はじめて参加させて頂きましたが、また参加したいと思います。
7			とても問題の多い事例で考えることが多かった。他のグループはポジティブな意見がおおかったが、自グループでネガティブ(現実的)な意見が多かった。

8	グループでヒントをもらえた資源の開発、検討	入院時の身元引受人、保証人不在について	楽しく話し合いができました。つながりができました。
9	地域内のコミュニケーションを高める。楽しかった。	家庭のあり方	
9	生活保護で医療だけ対象とすることができるということを知りました。薬剤師さんが外に出ていくようになるということを知った。	どのような内容でもいいです。	たくさんのお話ができるのがとてもいいと思います。
9	グループワークでは自分では思いつかないような意見が沢山あるので、支援でつまずいたらチーム内に相談し、出たアイデアを支援に活かそうと思いました。		良い雰囲気グループワークをする事ができました。
9	発想をもっと自由に		